

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	2	財政管理費	58

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	財政管理
事業目的	将来に渡り、限られた財源の中で効率的、効果的な行政サービスを提供する。
事業内容	<p>●主な事業内容と予算の内訳</p> <p>○財政管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費（愛知県庁への出張等）：64千円 ・消耗品費（参考書籍、コピー用紙、建通新聞購読料等）：169千円 ・印刷製本費（令和3年度当初予算書）：604千円 ・手数料（市債残高証明書発行手数料）：2千円 ・使用料（コリンズ・テクリスシステム使用料）：22千円 <p>○財政調整基金</p> <p>年度間における財源の不均衡を調整するほか、経済情勢の変動等により市税収入が著しく減少した場合、あるいは、災害による減収や復興に要する臨時的な対応への備えとして活用（財源として繰り入れ）する。なお、決算剰余金や補正予算に応じて決算額は大きく変動するが、令和2年度当初予算では、利息相当額の積み立てのみの計上を行った。（歳入にて予算全体における財源不足を補填するための繰入金を計上）</p> <p>積立金計上額：115千円（令和元年度末時点残高：約17億5千万円）※9号補正反映後の見込額</p> <p>○減債基金</p> <p>市場公募債を発行する場合には用途が限定されたこの基金への積み立てが想定されるが、当該市債を発行する予定はない。</p> <p>積立金計上額：1千円（令和元年度末時点残高：約76万円）</p>
事業の目標	<p>○財政管理：毎会計年度の予算を調製し、議案として製本する。</p> <p>○財政調整基金：一般的に当該地方公共団体における標準財政規模の10%程度の額（当市であれば約14億円）を「常時」確保することが望ましいとされる。本説明書の作成時点における令和元年度末の残高見込みは約17億5千万円となるが、令和2年度当初予算への繰入後は約10億3千万円に減少する。事業の実施や市債の発行などとのバランスを勘案しながら積み立てを行う。</p> <p>○減債基金：活用の予定はないため、最低限の管理として利息の積み立てを行う。</p>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
財政管理	861	0	0	0	861	100%
財政調整基金積立金	115	0	0	115	0	0%
減債基金積立金	1	0	0	1	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	977	0	0	116	861	88%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	3	財産管理費	62

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公有財産マネジメント
事業目的	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。 売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○公有財産マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・普通財産の適正な維持管理を実施 財産異動報告書の処理、台帳の更新、財産に関する調書の作成、除草業務の発注・管理、貸付事務、要望・苦情対応、境界立会い ・行政目的がなく不用となった土地の有効活用及び売却の検討とそれに伴う事務手続きを実施 ○公共施設等管理基金積立金 <ul style="list-style-type: none"> ・使用料の一部（定額）、不用となった土地の売却によって生じる売却益を公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントのための財源確保を図る。 ●主な予算内訳 <ul style="list-style-type: none"> ○普通財産管理：（維持管理分：1,276千円、売却準備分：91,074千円） <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理分の内訳 電気料金（旧天神污水处理場）：30千円、火災保険料（天神集会場 外3）：15千円 市有地除草委託料（旧天神污水处理場 外9）：631千円、営繕工事費：600千円 ・売却準備分の内訳 測量登記委託料（旧天神污水处理場）：811千円 施工監理委託料（旧天神污水处理場解体）：1,210千円 旧天神污水处理場解体工事請負費：89,053千円 ○公共施設管理基金積立金：20,037千円
事業の目標	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。 売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
公有財産マネジメント	92,464	0	0	90,266	2,198	2%
公共施設等管理基金積立金	20,037	0	0	37	20,000	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	112,501	0	0	90,303	22,198	20%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	13	ふるさと納税推進費	86

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	ふるさと犬山応援寄附金
事業目的	ふるさと納税による犬山市への寄附者に対し、記念品を贈呈するなど、寄附件数の増加を促し、自主財源の確保を図る。また、市内事業者のPR、消費を伴う産業の活性化を図る。なお、寄附金についてはふるさと犬山応援基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として、毎年1～12月の寄附金を翌年度の事業に充当している。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市外からのふるさと納税に対し、記念品の贈呈 <ul style="list-style-type: none"> ・申し込み方法は3種類（インターネット申し込み、郵送受付、窓口受付） ・支払い方法は3種類（カード決済、銀行振り込み、納付書） ※一部の申し込みサイトにおいて、マルチペイメントサービスを導入（携帯キャリア決済、コンビニエンスストア払い、ネットバンキング払いなど） ○寄附金の使い道は以下の9つから寄附者が選択 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化、産業、子育て、福祉、教育、健康、環境、都市基盤、市長にお任せ ○寄附金はふるさと犬山応援基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として1～12月までの寄附金を翌年度の事業に充当 ○寄附件数の増加を促すために申込みポータルサイトの拡充、PR事業、魅力的な記念品開発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新規申込みポータルサイトの導入（さとふるなど） ・フリーペーパー設置、リーフレット配布などの広告によるPR事業 ・新たな地場産品、犬山市独自の記念品（地域課題の解決につながるサービスなど）の開発 <p>●主な予算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 257,400千円（ふるさと納税記念品） ・役務費 46,683千円（通信運搬費、広告料、手数料） ・委託料 28,413千円（楽天ふるさと納税サイト、管理システム機能改善） ・使用料 19,259千円（ふるさとチョイス申し込みフォーム、管理システム） ・積立金 858,000千円（寄附金想定と同額）
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の寄附受入額を上回る8億5千8百万円の寄附額を目指す。 ・目標を達成するための計画として、申込みポータルサイトの拡充、魅力的な記念品の発掘、効果的なPR手法などの研究を進め、寄附件数（金額）増加のための施策を継続的に行う。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
ふるさと納税推進	352,618	0	0	54	352,564	100%
ふるさと犬山応援基金積立金	858,000	0	0	858,000	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,210,618	0	0	858,054	352,564	29%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
11	1	1・2	元金・利子	282

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公債費
事業目的	国の制度による臨時財政対策債や各種事業の財源調達のために発行した事業債に係る借入金を返済する。
事業内容	<p>事業目的に同じ</p> <p>参考 令和2年度見込額（一般会計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市債償還元金 2,003,338千円 ・市債利子 83,214千円 ・市債残高 19,935,331千円（令和2年度当初時点） <p>（令和元年度中の借り入れを2,562,292千円と想定 ※平成30年度からの繰り越しを考慮した金額で、事業費や補助金額等により変動する。）</p>
事業の目標	<p>○歳出（公債費） 約定の期日に滞りなく返済する。</p> <p>○歳入（市債）</p> <p>市債の発行（借り入れ）を抑制するとともに、対象事業の選定にあたっては、国の財政措置により後年の負担が軽減されるものを優先する。なお、実際の借り入れに際しては、期間や規模、借入先について、少しでも有利な条件を設定する。</p>

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
市債償還元金	2,003,338	0	0	0	2,003,338	100%
市債利子	83,214	0	0	0	83,214	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	2,086,552	0	0	0	2,086,552	100%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
12	1	1	土地取得費	282

部局名	経営部
課名	経営改善課

I : 事業概要

施策事業名	普通財産取得費
事業目的	普通財産として土地を取得する。
事業内容	事業実施の予定がないため、頭出しのみの計上
事業の目標	事業実施の予定なし

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地取得費	1	0	0	0	1	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1	0	0	0	1	100%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
13	1	1	予備費	282

部局名	経営部
課名	経営改善課

I : 事業概要

施策事業名	予備費
事業目的	予算計上のない支出や予算を超過した支出の財源とする。
事業内容	予備費 60,000千円 近年の実績に鑑み、前年度と同額を計上した。
事業の目標	近年では、災害復旧や施設設備の故障等に対応するための財源として活用することが多い。 当初予算編成における各所管各費目への予算配分は、限られた財源を必要最低限で行っていることから、補正予算や予算流用では対応が困難な緊急の財政需要に備える。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
予備費	60,000	0	0	0	60,000	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	60,000	0	0	0	60,000	100%